

【概要版】 互いを認め合い、 よりよい人間関係を築こうとする態度の育成

— 学級活動(1)における「集団決定の仕方」と「事後の活動」の工夫を通して —

長期研修員 関 喜史

主題設定の理由

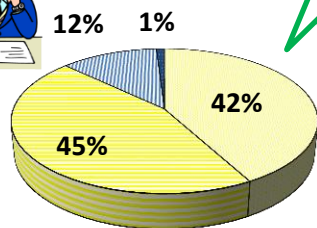
児童の実態

- ★自分に自信がない。
- ★対人関係に不安がある。
- ★折り合いを付けた話し合い活動がうまくできない。



教師の実態

集団決定の仕方



集団決定の仕方に課題を感じている。
87%

- 大変課題がある
- 少々課題がある
- あまり課題はない
- 全く課題はない

【県下小学校学級担任抽出400名
平成24年7月アンケート調査実施】

中央教育審議会答申

特別活動の基本方針として生活を改善する話し合い活動を重視する。



はばたく群馬の指導プラン

安易に多数決で決定せず、折り合いを付けて修正案を生み出す集団決定の仕方を推奨する。



研究の着眼点



学級活動(1)において、「集団決定の仕方」と「事後の活動」の工夫を繰り返し積み重ねていくことで、互いを認め合い、よりよい人間関係を築こうとする態度を育成する。

「なっとくのパロメーター」を活用した振り返りの場を設定すれば、充実感を味わい、次の活動への意欲をもつことができる。

事後の活動

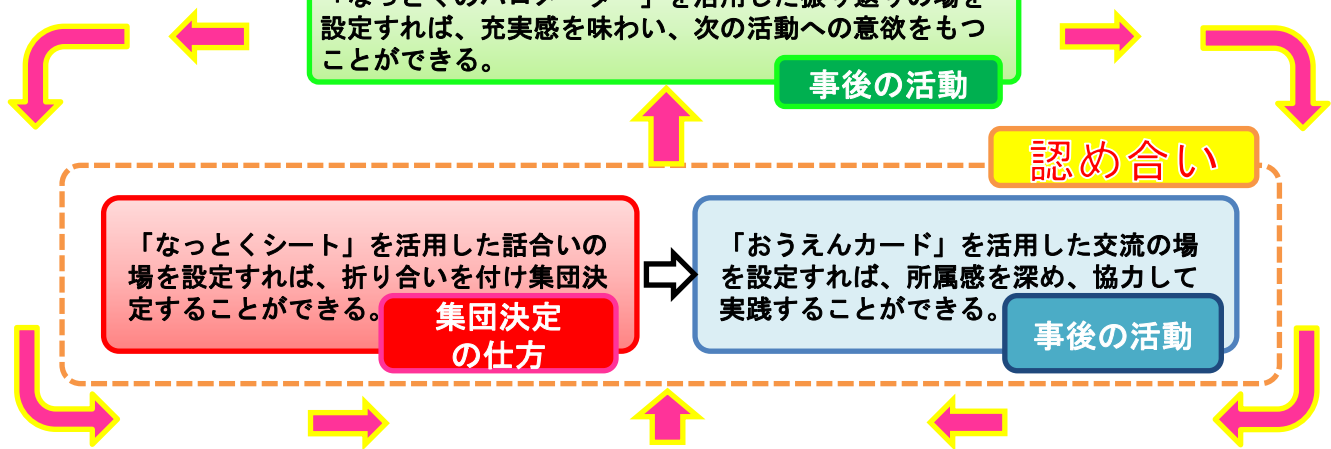
認め合い

「なっとくシート」を活用した話し合いの場を設定すれば、折り合いを付け集団決定することができる。

集団決定の仕方

「おうえんカード」を活用した交流の場を設定すれば、所属感を深め、協力して実践することができる。

事後の活動



研究の概要



目指す児童像 **よりよい人間関係を築こうとする児童**



充実感を味わい、
次の活動への意欲をもつ

手だて③「なっとくのバロメーター」

わざ	学年	具体例
なかよし	5	「なかまカルタ」「5-2カルタ」「クラスのよいところカルタ」を基にして、「5年2組なかまカルタ」にしよう。
つなげる	5	「けいどろ」と「ドッジボール」をつなげて「けいどろドッジボール」にすれば二つ一緒に楽しめるな。
どれか	2	「音楽をきく」と「なかよしと食べる」と「円になって食べる」の中で、みんなの顔が見えて楽しくなるから「円になって食べる」がいいと思うな。
くらべる	2・5	たくさん意見をまとめていくために、どのわざを使ったら納得できるか意見の比べ合いをしてみよう。

「なっとくシート」を活用し、
意見をまとめた具体例

折り合いを付け、
集団決定する

手だて①「なっとくシート」

話合いの場

な	っ	と	く
意見のなか(中間)を考えると、「なかよし」がいい。	意見をつなげると、「つなげる」がいい。	意見のどれかを選ぶと、「どれか」がいい。	意見を比べて、みんなが納得できると、「くらべる」がいい。

意見の中間を考える「なかよしのわざ」、意見をつなげる「つなげるのわざ」、意見のどれかを選ぶ「どれかのわざ」、意見を比べる「くらべるのわざ」の四つの視点を示したシートです。

「くらべるのわざ」を使って、「5年2組みんなのよいところカルタの方がクラスのよいところも一人一人のよいところもある」という意見に納得だな。

「どれかのわざ」を使って、「5年2組のよいところカルタ」がいいと思う。理由は「絆が深まり、みんなが楽しめるから」です。

集団決定

認め合い

過程	本研究における互いを認め合う具体的な姿	認める対象
本時の活動	ア 自分にもみんなにもよい意見を述べている。 イ 理由を添えて、自分の意見を述べている。 ウ 意見を生かしている。	自分
	エ 相手の立場に立って意見を聞いている。 オ 意見を理解し合っている。 カ 意見を尊重し合っている。 キ 意見を受容している。	他者
	ク 意見のよさに共感している。 ケ 意見をまとめようとしている。 コ 意見の折り合いを付けている。	両者
	サ 互いにアドバイスし合っている。 シ 助け合っている。 ス 協力し合っている。	他者
事後の活動	セ 互いを励まし合っている。 ソ 互いのよさに気付いている。 タ 所属感を深めている。	両者

振り返りの場

抽出児A	抽出児B
事前	事前
本時	本時
事後	事後

話合いで我慢することもあったけれど意見をまとめることができたな。意欲のレベル+3でいいな。

友達から自分のよいところを応援してもらえたよ。頑張らなくちゃ。意欲のレベル+3だな。

話合いで我慢することもあった。だけど応援してもらえた。活動も楽しかったので意欲のレベル+3だな。

話合いは不安だったな。でも、みんなが「頑張れ」って励ましてくれた。もっと遊びたかったので意欲のレベル+2だな。また、やりたいな。

事後活動

集団決定（話合いの場）、事後の活動（交流の場）、事後の活動（振り返りの場）を繰り返すことで、互いを認め合い、よりよい人間関係を築こうとする態度を育成することができます。

事後活動

集団決定

事後活動

所属感を深め、
協力して実践する

手だて②「おうえんカード」

交流の場

友達に「楽しくカルタで遊んでたくさんとろうね」ってカードを渡したら、「A君カルタが得意だから、きっとたくさんとれるよ」って応援してもらいうれしかったな。みんなのために頑張ろう。

友達に「たくさんとってね」ってカードを渡したら、「楽しくカルタができるといいね」ってはげまされたよ。仲間っていいな。

あなたのみんながおうえんしてるよ!!

話合いを受けて実践前や実践中に友達への励ましやアドバイスを記入するカードです。このカードは、記入後、友達と交換し合いワークシートに貼付していきます。



事後活動

手だて①「なっとくシート」【集団決定の仕方】



「なっとくシート」のわざを使い、まず、自分の考えと友達のことを比べました。それから、納得できる意見を選んだり、それぞれの意見をつなげたり、みんなの意見を基にして新しい意見を考えたりすることで、折り合いを付け集団決定することができました。このことから、「なっとくシート」を活用した話し合いの場を設定することは、折り合いを付け集団決定するために有効であると考えます。

手だて②「おうえんカード」【事後の活動】



「おうえんカード」により、友達と励ましやアドバイスの言葉を交換し合うことで、友達や自分のよさに気付くことができました。自分のよさが認められ、クラスの中での居心地のよさを感じることができるとともに、前向きな気持ちをもって実践に取り組みました。このことから、「おうえんカード」を活用した交流の場を設定することは、所属感を深め、協力して実践するために有効であると考えます。

手だて③「なっとくのバロメーター」【事後の活動】



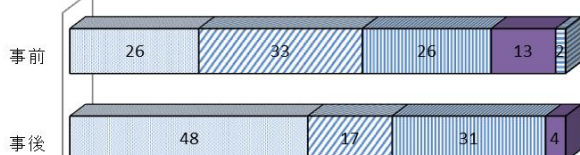
「なっとくのバロメーター」により、その時々を振り返ったり、意欲の変化を振り返ったりすることで、話し合いで意見をまとめたことのよさや協力して実践した楽しさを実感することができ、またやりたいという気持ちをもてました。このことから、「なっとくのバロメーター」を活用した振り返りの場を設定することは、折り合いを付けたことや協力して実践したことに対する充実感を味わい、次の活動への意欲をもつために有効であると考えます。

研究のまとめ

【このクラスには何でも話せる雰囲気があります】



- とてもそう思う
- わりにそう思う
- どちらかと言えばそう思う
- ほとんどそう思わない
- ぜんぜんそう思わない

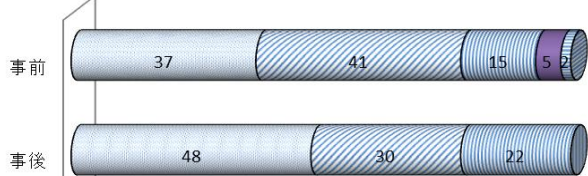


2年生調査結果

【このクラスには何でも話せる雰囲気があります】



- とてもそう思う
- わりにそう思う
- どちらかと言えばそう思う
- ほとんどそう思わない
- ぜんぜんそう思わない



5年生調査結果

第2学年：学級の雰囲気がとてもよいと思う児童は、22%増加しました。

第5学年：全ての児童が学級の雰囲気がよいと思うようになりました。学級の雰囲気が悪いと思う児童は、いなくなりました。



成果



折り合いを付け集団決定するための「集団決定の仕方」と、所属感を深め協力して実践したり、充実感を味わい次の活動への意欲をもつたりするための「事後の活動」の工夫をしたことは、よりよい人間関係を築く態度を育成するために有効であった。

課題



学級活動における「なっとくシート」は、意見の折り合いを付けたり、他者と話し合い意見をまとめることに有効であったので、さらに、各教科等の話し合い活動でも活用できることを明らかにしたい。

